

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	アイランドシティ創エネ・省エネ型まちづくり推進事業	
所管課	港湾空港局アイランドシティ事業部立地促進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 東日本大震災の発生によりエネルギー政策が転換期を迎えたことを踏まえ、平成23年8月に「アイランドシティ自然エネルギー活用ビジョン」を策定し、市5工区の今後のまちづくりの将来像を示した。
開始年度	平成23年度	
根拠法令	なし	
行政計画		

基本計画			
施策コード	主	4-1-3	
	再	8-2-1	
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
施策	地球温暖化対策の推進と自律分散型エネルギー社会の構築		
事業群	エネルギーのエリアマネジメントの推進		

〇家庭部門における1世帯あたりのエネルギー消費量(H28:約14%減) 〇業務部門における延べ床面積1㎡あたりのエネルギー消費量(H28:約9.2%減) 〇再生可能エネルギーの設備導入量(H28:70,000kW)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか アイランドシティ市5工区開発事業者、住民
	対象をどのような状態にしたいのか ・事業者が開発時に率先して環境配慮対策を導入する。 ・住民が意識的に効率的なエネルギー利用など環境配慮行動を取る。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・「CO2ゼロ街区」において、取得したエネルギー使用量等のデータからエネルギー使用に関する分析・検証・研究等を行い、「CO2排出量ゼロ」に向けた方策の検討等を実施。
	・創エネ・省エネ型まちづくりをはじめとする住宅開発動向や販売状況等に関する情報収集及び分析を実施。

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		1,594	
歳入	特定財源		
	一般財源		1,594
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		3,069	-
	特定財源		
歳入	一般財源	3,069	-

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)		③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)		④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)				
	・「CO2ゼロ街区」におけるエネルギーマネジメントや省CO2アドバイスなど、住民の環境配慮行動を促す仕組みづくりを開発事業者と共に行う。 ・先行事例調査や支援制度の活用検討などを実施し、開発事業者に対して、魅力的な環境配慮型のコンセプトの提示、スマート化への誘導を行う。		・開発事業者が提供する仕組みの中で、住民が効率的なエネルギー利用や環境配慮行動を実践する。 ・開発事業者が、福岡市の誘導のもと、環境配慮への意識を高め、開発を進める中でスマート化に関するノウハウを取得していく。		・開発事業者が提供する仕組みを活用しながら、効率的なエネルギーの利用や環境配慮に関する住民活動が活発化するとともに、アイランドシティ内にも波及する。 ・スマート化に関するノウハウを取得した事業者が、市5工区全体で積極的にスマートハウス、スマートマンションの開発に取り組む。		・アイランドシティが、創エネ・省エネ型まちづくりを推進する先導モデルとして内外で広く認識され、実施されている環境配慮に関する住民活動や開発ノウハウが、全市へと波及していく。				
活動の指標	指標の内容	実績		目標		指標の内容	実績		目標		
		年度	H27年度	H28年度	H29年度		最終年度	年度	H27年度	H28年度	H29年度
CO2ゼロ達成に向けた事業者との協議等(回数)	目標	-	-	-	H 年度	市5工区のスマートハウス、スマートマンションの誘導実績(戸数累計)	目標	99	156	-	H 年度
	実績	17	5	-	-		実績	78	127	-	-
	達成率	-	-	-	-		達成率	78.8%	81.4%	-	-
	目標	-	-	-	H 年度		目標				H 年度
環境配慮街区の開発協議等(回数)	実績	1	1	-	-	実績					
	達成率	-	-	-	-	達成率					

※指標の目標値については、H29年度より他事業と統合し、新たな指標を設定するため、記入を行っていないもの。

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	クルーズ船受入事業		
所管課	港湾空港局港湾振興部調整課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成27年度		海外船社によるアジアクルーズ市場開拓が進むにつれて、中国・韓国と近接する博多港のクルーズ寄港地としての需要が増大。寄港数増加とともに大型化が進んでおり、クルーズ客の満足度向上のため、受入体制の充実を図る必要がある。
根拠法令	無し		
行政計画			

基本計画				
施策コード	主	5-6-2		施策成果指標
	再			
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進			
事業群	クルーズ客拡大への取組み			外航クルーズ客船寄港回数(※暦年) (H28年 130回)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	クルーズ船によって来福する乗客及び乗員
	対象をどのような状態にしたいのか	博多港におけるクルーズ船の寄港増加に対応しながら、クルーズ船で来福する乗客及び乗員の満足度を向上させる。
事業目的		

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> ● 利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・箱崎ふ頭において、トイレの増設及び関係者向けの休憩スペースの施設の設置 ・中央ふ頭と箱崎ふ頭を結ぶ連絡バスの実施 ● 円滑な施設運営 <ul style="list-style-type: none"> ・中央ふ頭・箱崎ふ頭における観光バス等の交通整理員の配置 ・バス駐車場の料金徴収及び管理業務

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	105,944
歳入	特定財源	24,992
	一般財源	80,952
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	39,583 154,847
歳入	特定財源	0 71,561
	一般財源	39,583 83,286

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	クルーズ船受入体制の充実	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	クルーズ船によって来福する乗客及び乗員の博多港寄港時の満足度が向上	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	博多港がクルーズ寄港地に選定される 博多港のクルーズ港としてのイメージが向上	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	クルーズ船寄港数増につながる			
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標			
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標				H年度	目標	110	130		H年度
		実績					実績	245	314	320	
		達成率					達成率	222.7%	241.5%		
		目標				H年度	目標				H年度
		実績					実績				
		達成率					達成率				

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	先導的産業集積等推進事業(産業誘致経費)	
所管課	港湾空港局アイランドシティ事業部立地促進課	背景
開始年度	平成15年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か	「新しい産業の集積拠点の形成」を目標に「先進的なまちづくり」を進めており、九州・西日本の市民生活や地域経済の活性化に大きく貢献するとともに、アジアに向けた都市戦略上も重要な機能を担うため。	

基本計画			
施策コード	主	8-2-1	
	再	6-2-1	
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施策	高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり		
事業群	アイランドシティのまちづくり		
施策成果指標	アイランドシティ・九州大学学術研究都市・シーサイドもち(SRP他区)の従業者数(H28年度:21,200人)(H34年度:30,000人)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	アイランドシティ ○「センター地区」 ○「新産業・研究開発ゾーン」
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	○集客・商業施設の立地による「賑わいとふれあいの場」の形成 ○福岡市経済の活性化に資する成長性のある分野の産業集積

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○市5工区センター地区事業提案公募において、提案内容を評価し、事業者の決定及び土地分譲を行った。 ○親子向けの講演会やプログラミングの授業等先進的な教育体験プログラムを実施した。

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	6,000		
歳入	特定財源	4,500	
	一般財源	1,500	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	1,205		-
	歳入	特定財源	904
一般財源		301	-

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)				③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)				④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)			
	○ 事業提案公募における提案内容の評価 ○ 関連事業者への誘致活動の実施 ・企業の立地促進につながる、関係機関との協議調整による環境整備 ・アイランドシティのPR活動の推進 ・情報の発信・収集による企業側の需要発掘		○ 事業予定者の決定及び土地分譲 ○ 事業者のアイランドシティへの開発意欲を喚起し、未分譲地の事業提案公募を実施する				○ 新たな施設が立地し、「賑わいとふれあいの場」が形成される ○ 産業集積が進む				○ 福岡市を牽引する「先進的なまちづくり」の実現			
	活動の指標	指標の内容		実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容		実績		目標	
		企業との協議件数(件)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度		土地処分面積累計(ha)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
			目標	100	100		H年度			目標	14.5	14.5		H年度
実績			101	90	-	-	実績			7.0	14.5	-	-	
達成率	101%	90%			達成率	48.3%	100%							
	目標				H年度	目標					H年度			
	実績					実績								
	達成率					達成率								

※指標の目標値については、H29年度より他事業と統合し、新たな指標を設定するため、記入を行っていないもの。

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	先導的産業集積等推進経費（ふくおか健康未来都市構想の推進）		
所管課	港湾空港局アイランドシティ事業部まちづくり推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成15年度		「生活」(健康で安心の居住環境)と、「産業」(次世代を支える健康・医療・福祉分野の研究開発ビジネス拠点)の両面から、生涯を通じて誰もがいきいきと暮らすことができる健康未来都市づくりの実現。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	8-2-1	
	再		
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施策	高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり		
事業群	アイランドシティのまちづくり		
施策成果指標	アイランドシティ・九州大学学術研究都市・シーサイドもち(SRP他区)の従業者数 (H28年度: 21,200人)(H34年度: 30,000人)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか アイランドシティの住民をはじめとした市民及び健康・医療・福祉関連事業者。
	対象をどのような状態にしたいのか ・「生活」(健康で安心の居住環境)と、「産業」(次世代を支える健康・医療・福祉分野の研究開発ビジネス拠点)の両面から、生涯を通じて誰もがいきいきと暮らすことができる健康未来都市づくりの実現。 ・先進的モデル都市として取組みを全市へ還元・普及させる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	①地域と立地企業等の共創による健康未来都市の推進 ・地域と立地企業等の連携のため、意見交換の会議を開催(12/7) ・共創により健康未来都市づくりを推進する新たな枠組みの設立支援
	②アイランドシティ生涯すこやかタウン協議会の活動推進・支援 ・公民館や自治協議会との連携の促進 (地域との連携による健康セミナーの実施) ・会員増加を図るため運営体制の検討等
	③認知症・介護予防プログラムの実証・研究 ・実証事業の実施(運動教室、体力測定、報告会の実施等) ・スロージョギング教室の開催

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	4,550
歳入	特定財源	10,200
	一般財源	▲ 5,650
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	7,501 9,332
歳入	特定財源	12,837 14,695
	一般財源	▲ 5,336 ▲ 5,363

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	○地域と立地企業等が一体となったまちづくりの支援(上記実行委員会、すこやかタウン協議会の活動実施含む) ○スロージョギング等の有酸素運動を中心とした、認知症・介護予防プログラムの実施	○立地企業同士や立地企業と住民との間にネットワークができる。 ○健康のまちとしてのアイランドシティのブランドイメージが高まる。 ○住民の健康意識が高まり、介護や認知症の予防活動が積極的に行われる。	○住民や立地企業等が主体となった自立的な活動が盛んになる。 ○住民だれもが生涯を通じていきいきと暮らすことができるようになる。	○福岡市のモデルとしての健康未来都市づくりが実現する。 ○先進的な取組みが全市へ波及する。		
	指標の内容	実績	目標	実績		
	活動の指標	年度	年度	年度	最終年度	
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
	共創による健康づくりに関わる活動数	目標	-	3	4	H32年度
		実績	-	3	6	H年度
		達成率		100.0%		
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
	アイランドシティにおける健康未来都市づくりの認知度(%)	目標	-	64.0	65	H32年度
		実績	63.2	40.6	70	H年度
		達成率		63.4%		
	目標					
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

		事業区分	重点
事業名	アイランドシティ・アーバンデザインセンターの運営経費		
所管課	港湾空港局アイランドシティ事業部まちづくり推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か アイランドシティ整備事業の推進のためには、先進的モデル都市として行政のみではなく、住民や立地企業、大学等の様々な視点や発想をもって事業を進めていくことが重要であり、公・民・学が連携した新しい取組みを実施し、まちの魅力向上を図り、広く情報発信していくことが必要であったため。
開始年度	平成24年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		
事業群	アイランドシティのまちづくり		

基本計画			
施策コード	主	8-2-1	
	再		
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施策	高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり		
事業群	アイランドシティのまちづくり		

施策成果指標	アイランドシティ・九州大学学術研究都市・シーサイドもち (SRP地区) の従業者数 (H28年度: 21,200人) (H34年度: 30,000人)
---------------	---

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 市民, 企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 公・民・学が連携して先進的なまちづくりの取組みを実施することで、まちの魅力向上、高質な住環境の形成を図り、またこれらの取組みを広く発信して、アイランドシティのイメージ向上・ブランド化を図り、ひいては居住者や立地企業の増加につなげること。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①まちづくり活動の実施: 集客イベントの実施、支援等(18件) ②まちのデザインに関する活動: 大学やNPOと連携した取組み(4件) ③大学・企業による調査研究の実施支援(4件) ④連携交流の場の創出: 地域住民の会合等によるアイランドシティ・アーバンデザインセンターの利用(13件) ⑤情報発信: アイランドシティのプロモーションにつながるイベントの開催、協力(2件) ※今後は地域のまちづくりについて、コミュニティの活動拠点である公民館をはじめとして、立地事業者が有するホール等の利用について協力を得ながら、地域主体の取組みへと移行していくことから、今年度末をもってセンター施設を廃止することとなった。
-----------------	--

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		41,448
歳入	特定財源	31,086
	一般財源	10,362
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H27	H29
歳出合計	42,344	12,406
歳入	特定財源	21,758
	一般財源	20,586

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	・公民学が連携してアイランドシティの魅力あるまちづくりについて検討し、イベントなどの事業を実施し、それらを広く情報発信する。 ・大学や企業と連携し、アイランドシティをフィールドに研究や実証実験を行う。	・市民や企業がアイランドシティを知る機会の創出 ・アイランドシティへの来街者数の増加 ・知的財産を活用した社会貢献	・(マスメディアへの記事掲載等による)市民や企業のアイランドシティに対する理解促進・イメージアップ	・居住者や立地企業の増加による土地分譲の促進 ・先進的モデル都市としてのまちの熟成		
	活動の指標	実績	目標	実績	目標	
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	10,000	10,000	H年度	H年度

UDCIC来館者及びイベント参加者数	実績	11,523	8,726
	達成率	115.2%	87.3%
	目標		
	実績		
	達成率		

アイランドシティの認知度(市政アンケート調査: %)	実績	94	94.2
	達成率	108%	99.2%
	目標		
	実績		
	達成率		

※平成28年度で事業終了のため目標値設定なし

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	空港推進事業(福岡空港の滑走路増設, 平行誘導路二重化)	
所管課	港湾空港局空港対策部 空港整備推進担当	背景
開始年度	平成15年度	
根拠法令	空港法	
行政計画		
		事業を始めた理由(きっかけ)は何か 福岡空港については, 将来的に需給が逼迫する等の事態が予想されるとして平成14年国の交通政策審議会航空分科会の答申において, 抜本的な空港能力向上方策等についての総合的な調査の必要性が明記された。

基本計画			
施策コード	主	8-4-1	施策成果指標
	再		
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施策	成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり		
事業群	空港機能の強化、利便性向上		○福岡空港乗降客数(H28 1,750万人うち国際線320万人)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	福岡空港(空港利用者)
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	滑走路増設と平行誘導路二重化により, 抜本的な空港能力向上を図る(空港利便性向上を図る)。

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	滑走路増設事業及び平行誘導路二重化(国内線ターミナルビル工事等)において, 市として関係機関と協議, 調整を行った。

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	4,607
歳入	特定財源	6
	一般財源	4,601
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	7,486 6,046
歳入	特定財源	8 6
	一般財源	7,478 6,040

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・国による平行誘導路二重化が早期完成するよう市関連事業の調整を行う。 ・国による滑走路増設の早期完成に向けた協力, 市関連事業の調整等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平行誘導路二重化事業が円滑に進む。 ・滑走路増設事業が円滑に進む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平行誘導路二重化の実現による空港能力の向上 ・滑走路増設の実現による空港能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外との交流基盤である福岡空港の機能が強化され, 福岡市の国際競争力の向上が実現する。 	
	指標の内容	実績		目標	
	活動の指標	年度	H27年度	H28年度	H29年度
	目標				H年度
	実績				
	達成率				
	目標				H年度
	実績				
	達成率				